

1 オゾンペットシャワーでかけ湯をする



最適な施術をするために、**オゾンペットシャワー**でわんちゃんに掛け湯(予備洗浄)をして体をお湯に慣らしながら荒汚れを落とします。

オゾンペットシャワー…皮膚の細胞を活性化させるとともに、強い殺菌力と脱臭力で、臭いや皮膚疾患の原因を根こそぎ取り除き、清潔な肌環境を作ります。

2 オゾンナノバブル温浴でふやかす

強い分解力を持つりんご酵素ナリットル中10億個ものマイクロナノバブル+オゾンを溶け込ませた極上のお湯で温浴することで、皮膚・被毛にこびりついている皮脂汚れや涙、唾液、体液、フケ、かさぶたなどのさまざまな汚れをふやかして強力に分解・剥離・洗浄します。また、毛胞を広げ、角栓もふやかします。

特にオゾンには、分解・剥離・洗浄に加え、殺菌・止血・体液・皮膚再生」という効果もあります。

「トントントン」という摩擦による洗浄を不要とし、かつ皮膚・被毛をケアすることのできる温浴療法です。



「ゴシゴシ」する…従来のシャンプー作業では、シャンプーの洗浄力とスタッフの手指による、「ゴシゴシ」といった摩擦の洗浄力に頼っていました。でもこの、「ゴシゴシ」が皮膚疾患発症の大きな要因ではないかと考えられるようになりました。「ゴシゴシ」は、じつは人の皮膚よりも薄いわんちゃん皮膚にささくれや傷を負わせてしまっているのです。わんちゃんは皮脂が多いうえ毎日シャンプーしないので汚れも相当なもの。これをとるには、「ゴシゴシ」がかかせませんでした。でもこの、「ゴシゴシ」、終わっておうちに帰った頃に、つつばるなどの違和感からかいたりなめたり、これが続けるとやがて体液が出はじめます。そしてこの唾液や体液に黄色ぶどう球菌やマラセチアなどが宿りだす。この汚れが次の、「ゴシゴシ」の目印となり、標的に延々と繰り返していくのです。私達人間が洗顔の際、今までわんちゃんたちにしてきたのと同じような、「ゴシゴシ」をしたら「クワトロシステムは、触れることなくキレイにすることができる。非接触洗浄を実現させました。」

3 ジェットバスでしつこい汚れをこすらず、飛ばす

オゾンナノバブル温浴によって皮膚・被毛や皮脂汚れなどが十分ふやけてきたところで、ジェットバスを全身にしつかりとあてます。スタッフの手指とわんちゃん皮膚とを摩擦させることなく、ふやけた汚れやフケ、かさぶたなどをジェット水流で吹き飛ばして落とすことができます。毛胞も十分広がっているので、角栓なども取れやすくなっています。また、ジェット水流のマッサージ効果によるシニア犬の筋肉や関節などの痛みの緩和にも効果的です。

4 ふわモコシャンプー

ふわモコに泡立てた濃密泡シャンプーを、スタッフの手指とわんちゃん皮膚が触れることなく、泡を押し付けるようにしてやさしくシャンプーします。そして数分間、シャンプーの洗浄力に頼って泡のままじっと待ちます。

シャンプーするまでにほとんどの洗浄が済んでいるので、皮膚に負担のかからないこのような非接触洗浄が実現できるのです。



5 オゾンペットシャワーでしつかり、すすぎ

オゾンペットシャワーを使ってシャンプーをすすぎます。オゾンは汚れだけではなく、シャンプー成分も分解するので、すすぎもしつかり。

6 炭酸泉温浴でわんちゃんをふやかす

炭酸泉温浴をして、被毛に磨きをかけてさらさら・つやつやに整えます。通常の人工炭酸泉は約1000ppm程度ですが、クワトロシステムの炭酸泉は、1800ppmもの高濃度を生成することができます。炭酸泉のお湯はPH4.2~4.8の弱酸性。炭酸泉温浴でふやけた皮膚・被毛を収れんし、開ききったキューティクルもしっかり整えます。

7 皮膚バリアを施す

クワトロシステムで施術をすると、皮膚・被毛ともにしっかりと洗浄・殺菌・脱臭されるので、わんちゃんの身体はいったん丸裸の状態になります。丸裸にした後には、保湿液やコンディショナーで皮膚バリアを補います。酸化・劣化した皮脂、それに宿る細菌類、マラセチアなど、こすったものに、「とりすぎ」ということはありません。不要なものもしっかりとって、必要なものをしっかりと補う、クワトロスキングケアの基本です。

